

# 素敵な助産師さん、見~つけた!

今回の素敵な助産師さんは  
加藤淑美さんです!



香川県助産師会で仕事をさせていただき、早 15 年になります。昨年度より若輩者にも関わらず保健指導部長という大役を頂き、皆様のご協力のもと2年目に突入いたしました。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。看護学生時代、池添助産院で地域で活躍する大先輩の姿を見て「私が目指す姿はこれだ!」と思い助産師を志望しました。訪問での助産師の助言やケアが、母親の表情を別人のように変化させた衝撃を今でも覚えています。そこから臨床で経験を積み、第2子出産後に念願の地域で助産師活動がスタートしました。クリニック勤務と地域の訪問活動の2足のわらじだったので多忙でしたが、妊娠・出産・産後・子育て期と継続して関わることができ、やりがいと楽しさを感じながら多くを学ばせていただきました。何より助産師会で出会った大先輩方のお言葉や人間性に感動し、今もなおそれは私の財産となっています。

6月に長年お世話になったぼっこ助産院を退職し、高松市林町で「鍼灸院 助産院 榎ゆずりは」を開業します。夢だった産後ケアハウス開設のため、鍼灸あんまマッサージ指圧師の資格を取得し、提供できる技も増えました。「女性と子ども、またその家族が、心と体をゆったり、安心して過ごせる空間の提供」をコンセプトに只今準備中です。住宅地にひっそりと佇む、2階建ての大きな梁がある一軒家です。ご興味がある方はいらしてください。行政の委託料頼みの産後ケア事業経営は課題が多々ありますが、まずは自分やスタッフが楽しく仕事できることを第一に考えてスタートしようと思います。私が15年前に先輩方からしていただいたように、今後若い助産師が地域で活躍できる道しるべになれるよう頑張っていきたいと思っています。

## 4~9月の研修会及び行事

研修会演題名 講師名	開催日時 場所	定員	参加費	
			会員	非会員
「周産期の骨盤ケア」 (一社)香川県助産師会 助産師 田中幸子 ※演習で実践的に学べます	9月8日(日)9:30~11:30 岡田コミュニティセンター (丸亀市綾歌町岡田下516-1)	30	1000円/2500円 CLOCMiP レベルⅢ 認定申請有効	運動が出来る服装でお越しください
「(仮)周産期のメンタルヘルス」 香川県子ども家庭課 保健師 青野美穂	12月15日(日)10:00~11:30 いのちの応援舎(高松市春日町1176)	30	1000円/2500円 CLOCMiP レベルⅢ 認証申請有効	
「新生児蘇生法(NCPR) スキルアップコース」 インストラクター 高松赤十字病院・助産師 熊野 明江 (一社)香川県助産師会・助産師 高田 恵子	令和7年1月25日(土)9:00~12:00 香川大学医学部付属病院 地域医療教育支援センター (スキルラボラトリー)	12	3000円/6000円 非会員の申込みは 9月2日(月)から 申込み期限 12月2日(月)厳守	

参加の申し込み\*すこやか助産師センター事務所へ、電話またはFAXでゆとりをもって申し込みをしてください。

Tel : 087-844-4131 Fax : 087-844-4130 電話受付時間 : 月から金曜日の10:00~16:00(祝祭日を除く)

\*計画変更は、ホームページに掲載します。

新生児蘇生法(NCPR)スキルアップコースについて 期限内であっても募集定員(12名)に達した場合は、その時点で募集を終了します。申し込み時には、認定番号、有効期限、所属施設名、携帯番号を必ずお伝えください。

# とらうべ通信

2024. 8月号  
No.106

発行所 : (社)香川県助産師会 高松市春日町1176  
発行責任者 : 佐々木 三千代 ☎ : 087-844-4131 FAX : 087-844-4130

## 会長挨拶

会長 佐々木 三千代



香川県助産師会の会員の皆様、いつも香川の母子保健に貢献していただきありがとうございます。令和6年度の香川県助産師会の通常総会も無事終了し、新規事業計画を進めてまいりたいと思います。今年度の新役員として財務担当に綱井朝代様、監事に中橋尚子様にご就任頂きましたこと心強く思っております。今後ともよろしくお願いいたします。また、旧役員の方には助産師会の大役を長期にわたり支えていただきました。ありがとうございます。今後ともご支援をいただきたいと思います。

本日は7月7日の七夕です。梅雨の中休みの空は雲一つなく真夏を思わせる真っ青な晴天です。夜空にはきつと天の川が見え、織姫と彦星の一年に一度の出会いが叶うのでしょうか。香川では35度を超える猛暑日と連日熱中症に注意が呼びかけられています。会員の皆様、こまめな水分摂取と食事、睡眠で予防に努めてください。

さて香川県助産師会の今年度の事業計画では例年同様に香川県からの委託事業である妊娠・出産サポートがあります。2014年より開始し10年目を迎え地域に根付いた母子保健事業となっており、さらなる充実を図っていききたいと思います。いいお産の日記念事業は28回目を迎えます。地域助産師と施設助産師がいいお産について取り組める時間を有意義に使っていただきたいと思います。産後ケア事業評価委員会では今年度の総会資料に利用実態と課題が出されました。この4月より各市町では利用料の減免支援が行われ、利用者が急増しており、お母様方の日頃の育児不安や育児疲労の軽減のため助産師が日夜活躍しています。安全に事業が行われるためにも評価委員会でのマニュアル作成に期待をしたいところです。教育計画につきましてはCLOCMiP®レベルⅢ申請に有効な研修となっています。助産師の皆様お誘いあわせの上ご参加をお待ちしております。また2025年の香川母性衛生学会学術集会を当会が担当することになり準備委員会が立ち上がりました。助産師会会員がワンチームとなって助産師らしい学術集会にしていきたいと思っております。皆様のご協力をお願いいたします。

今年度の中国・四国地区研修会が愛媛県で開催されます。8月31日と9月1日です。1日目は産婆・乳母の祖神である高忍日賣大神(たかおしひめのおおかみ)が祀られている高忍日賣神社へ歴史研修があります。全国でも唯一助産師の神様といわれています。樹齢1000年といわれる大きなクスノキがありパワースポットにもなっているそうです。

皆様ちょっとリフレッシュに愛媛県へ出掛けてみませんか。今年度もよろしくお願いいたします。



月日	学会およびテーマ	会場
8月31日(土)~ 9月1日(日)	日本助産師会 中国・四国地区研修会 「おかえりなさい…さんばの故郷 愛媛へ 守りぬくもの 変えてゆくもの」	愛媛県立保健医療大学 愛媛県伊予郡砥部町
11月30日(土)	第25回 香川母性衛生学会学術集会 「助産師による妊娠期から育児期の切れ目ない支援」	香川県立保健医療大学 香川県牟礼町
11月30日(土)~ 12月1日(日)	日本子ども虐待防止学会 第30回学術集会かがわ大会 「あゆもうとともに~こどもたちとつながりつづけるために~」	サンポートホール高松 香川県高松市

\*次年度の香川母性衛生学会は助産師会が運営担当となります。

\*日本子ども虐待防止学会で、助産師会の活動PR目的にシンポジウムを開催します。

《お知らせ》

名前、住所、メールアドレス、就業先等変更がありましたら、日本助産師会マイページよりお願い致します。

## 総会報告

2024 年度 公益社団法人 日本助産師会通常総会



代議員 小松千秋

5月17日に東京の一橋大学 一橋講堂で行われた日本助産師会通常総会に、兵頭奈緒美さんと小松の2名で参加してきました。

日本助産師会の活動状況をたくさんの方々に聞いていただきたいという会長の希望もあり今年通常総会、学会とも会場での対面開催となりました。総会では124名の代議員と会員の参加者が集まり会場は活気にあふれていました。その中で提出議案（第1号議案～第3号議案）は、次々と承認されました。会場からは分娩費の保険適用化について、助産師会としての対応と今後の方向性について質問がありました。会長より現在の進捗状況、分娩費用の見える化がスタートし専門家による検討会が始まっていることの説明があり、今後の方向性として助産所が不利益にならないように発言していきたいという返答がありました。また、助産所の嘱託医が決まらない問題や分娩件数の減少により経営困難から助産所を閉じるところもあり全国から集まった代議員や会員の方々から活発な意見交換があり対面形式ならではの迫力や熱気を肌で感じることができました。その他にも伴走型相談支援での助産師の役割、ラダーの推進に向けての取り組み、性教育活動についてなど会場からの発表もあり助産師会の活動内容をより理解することができました。提出議案、事業報告は日本助産師会機関紙5月号「助産師」をご参照ください。

最後に勤務助産師部会委員長より、アドバンス助産師の再認証申請の案内があり申請期間は8月1日～20日予定です。再認証の方は申請をお願いします。



## 研修報告

「第16回香川県小児保健協会研究会」に参加して

中澤恵美里



2月4日（日）に香川大学医学部看護学科にて「子育ての原点」をテーマに多職種の先生方からご講演をいただきました。

初めに、青野先生より香川小児保健統計の動向とその対策についてお話しいただきました。県内でも虐待件数は増加しており、その60%近くが心理的虐待で、主たる虐待者がここ数年で実父が急増し実母と同じくらいに推移していることに驚きました。続いて令和6年度からの新たな取組として出産・子育て応援交付金事業が紹介され、育児用品のみならず産後ケアサービス等にも利用できるような多様なニーズに対応していることが嬉しい内容でした。特別講演では柳川先生が「トリプルに学ぶ子どものこころを育む子育てとは」と題してお話くださり、子どもが健やかに育むためには安定した愛着が必要であることを強調されておりました。なかでも愛着遮断症候群のお話はとても衝撃的で、子どもの心に大きく影響するイベントが起こると身長や体重の伸びに現れることがあると知りました。結果に目を取られがちですが、それまでの過程をほめ子どもに気持ちを伝えること、感謝、ねぎらいが大切であるとお話されていました。非認知能力（多様性を受け入れる、柔軟に対応する、自分を変革し続けるなど）をいかに高めるかが重要で、それによって子どもが安心できる環境を作れることにつながるのだと話され、日々子どもへの接し方についてはっとさせられる内容でした。シンポジウムでは「親子が幸せでいるためにできること」と題し、佐々木会長がプレコンから産後ケアの多岐に渡り地域で助産師が活動していることを熱心に報告してくださりました。市原先生のお話で、仕上げ磨きは子どもとの”最後のスキンシップ”とのメッセージがあり、毎日面倒だと思わずに、仕上げ磨きを大切な時間と思うようにしたいと感じました。会の最後には知ってもらいたい活動報告として4人の先生方のお話があり、子育てには支援を必要とする人だけでなく、全ての子どもに対して多職種が多方面から取り組みをされていることが理解できました。

子育ては決して一人ではなく、必ず何かの支援にたどり着くことができるのだと会全体をもって感じました。これから親になろうとする方々、子育て中の方々が不安や心配事を気軽に言える土台を、私たちは作っていくことが大切なのだと感じる有意義な時間でした。

## いいお産の日記念事業 西会場

西会場実行委員長 竹内美由紀

1994年（平成6年）きくちさかえ氏・戸田律子氏を中心に「REBORN」の呼びかけで11月3日を「いいお産の日」と命名。出産の現状をもっと多くの人に知ってもらおう、お産の状況を少しでもより良いものにしていこうと、出産を経験した女性たちや自然なお産に取り組む助産師たちが集まり、東京でイベントを開催したのが始まりです。その後、香川県でも1997年（平成9年）に第1回を開催し、その後、講演と相談・体験コーナーと次々充実させてきました。第10回からは、自分たちのそばで開催してほしいとお母さん方の希望もあり、西会場・東会場と県内3か所になり継続、コロナ禍により縮小もありましたが、第28回を迎えることができ、細く長く香川県の助産師の力は受け継がれています。いいお産の日イベント以前の「ママさんフェスティバル」から参加させていただいている私にとって、この素晴らしい香川県の助産師の団結力を日々実感しています。



西会場に参加して3年目、実行委員長を務めることになりました。今年のいいお産の日西会場は、11/10（日）に丸亀市岡田コミュニティセンターにて開催します。今年は、予約不要としました。当日受付で「赤ちゃんの抱っこ・沐浴」「ベビーマッサージ」「マタニティヨーガ」は整理券配布をします。そして、助産師相談、足形スタンプや体重測定でわが子の成長を感じてもらい、妊婦体験で夫婦の絆を深め、寝相アートなど、家族皆さんで楽しんでいただけたらと思います。その他、西会場関連の施設紹介で活動の実際を紹介し、さらに、NPO法人わははネットと共催で、香川県男性の家事・育児推進事業として「ポンコツパパが伝える育児のヒント」を開催、夫婦のコミュニケーションのヒントやパパのパッククッキングレシピも伝授ありとのこと、新しい試みにワクワクしています。当日は皆さん一緒に楽しみましょう。ご協力よろしくお願いします。



## いいお産の日記念事業 東会場

高松会場実行委員長 城下利香

日程：11月3日（日）9:30～12:00  
会場：いのちの応援舎 1・2階  
内容：〈沐浴・赤ちゃんの抱っこ・妊婦体験〉〈4D超音波体験〉  
〈ベビーマッサージ〉〈足型アート・寝相アート・フォトスペース〉  
〈助産師相談・計測〉〈座談会 お産を語ろう〉〈災害グッズコーナー〉



第1回実行委員会が6月1日に開催され、施設と地域の助産師が交流し、語り合い、今年のイベント内容の検討を行いました。日程・会場・内容は、昨年とほぼ同様ですが、〈沐浴・赤ちゃん抱っこ・妊婦体験〉と〈4D超音波体験〉の予約を図り、妊娠期の方達への参加インパクトを促進させようと検討中です。ところで、この事業のはじまりは、「REBORN（現、優しいお産をめざす産情報紙）」の1周年イベントとしての1994年、全国の自主グループが協力し、2003年「いいお産の日」プロジェクトにバトンタッチされ、毎年11月に妊娠、出産、育児について語り合うイベントが催されている歴史的活動です。

香川県でも1997年から毎年、11月3日に高松で行われてきました。途中、会場の移動を余儀なくされましたが、新しい会場での設営運営の努力の結果、ほぼ土台の再構築がなされてきました。これら助産師魂とも言える、熱き

“いぶき”を継承させていきたいと思っています。次回の実行委員会は、9月7日10:00～です。高松会場であなただも実行委員になって活動しましょう。まだまだ間に合います。お待ちしております。